

突撃!!ヘルスケア診療室!

(落合真理子・ひかり歯科)



① 昭和10年代コンビ!

失礼を承知で書きます… 鈴木歯科医院の院長である鈴木正臣先生と、主任歯科衛生士の府川美佐子さんのお二人はなんと昭和10年代生まれでいらっしゃいます。

院長は「お互い歳を取ったね、若い頃のようにいかないこともあるけれど、府川さんに先に辞められたら困るな」と院長の府川さんへの信頼は厚いです。

お二人はご自身のことを「高齢者」と呼んでいますが、とんでもない! まだまだ診療室で時間通りに患者さんを拝見しようと効率よくテキパキと行動されるお姿には脱帽です。

② 「寄り添う診療」の神髄!

鈴木歯科医院には多くの長期経過の患者さんが来院されます。

歯のことから話しはじめるのではなく、生活やお身体のことから自然に会話がスタートします。「歯をみる前に人を見る」このことが多くの患者さんの信頼を得られる秘訣だと感じます。

一見すると友人同士の会話のように進むメンテナンスで、歯間部に多量のご食物残渣をつけた患者さんから「歯間ブラシ〜? 使っていないね!」と言われても「ほら、すごく落ちるでしょ? これ、いいと思わない? 使ってみようよ」と優しく無理なくアプローチし、



お帰りになる際には「じゃあ買って帰るよ」と府川さんマジックで、患者さんが変わる瞬間に立ち会うことができました。

院長は「ヘルスケアに入会したのは61歳から、ヘルスケアを実践して歯の大切さを知れば知るほど、歯を削れなくなるよ、形成のためにやむなく健全歯質を削るときには本当に心が痛むよ」とおっしゃいます。形や見栄えが多少悪くても、患者さんの削りたくないという気持ちに寄り添いたい。というヘルスケア診療の神髄が鈴木歯科医院にはありました。

③ 育てるためには考えてもらう!

小児患者さんはさほど多くない鈴木歯科医院だからこそ、一人ひとりに合った関係作りができるそう。媒体は年齢に応じてクイズ形式を取り入れたり、健康ファイルには「6さいきゅうしが

見学医院 鈴木歯科医院(蓮田市)

見学日時 2013年8月7日(水)
9:00~15:00

見学のポイント

- ① 昭和10年代コンビ!
- ② 「寄り添う診療」の神髄!
- ③ 育てるためには考えてもらう!

4ほんあります」と、直筆で書いてもらったりと、すぐ真似したくなるような参加型診療の工夫が多く見られました。

一軒家の自宅かな? と思う外観の鈴木歯科医院は外観だけでなく院長はじめスタッフみなさんが温かく、実家に帰ってきたようなアットホームな雰囲気の良い医院でした!

ぜひ、ヘルスケアの神髄を見学しに行ってはいかがですか?

育成プログラムに参加して

今回初めて歯科衛生士育成コースに参加させていただきました。1日目にコミュニケーションスキルの講習を、2日目は口腔内写真撮影と歯周組織検査の講習と実習でした。

口腔内写真撮影は今年の4月から勤め始めた今の医院に来て初めてやるようになり、まだ撮影の仕方が理解できていない状態でした。頬側側面観と臼歯部口蓋・舌側面観は特に苦手なところで本を読んだりしてみても私には分かりません

でした。そのため講習参加前に撮影した写真は規格性のあるものはほとんどないかもしれません。それに加え、患者さんにも痛みや気持ち悪さを与えてしまっていたかもしれません。しかし今回の実習で撮影のポイントを詳しく教えていただき規格性のある写真を撮ることができました。まだ素早くて正確に撮ることができていないので検定までの4ヵ月間で必ずできるように努力したいと思います。

歯周組織検査では、プローブの持ち方

からウォーキングストローク、ポジショニングやミラーテクニックを行いました。ミラーテクニックを使わず覗き込んでしまう癖は、長く歯科衛生士の仕事を続けていくには体に負担がかかってしまうと言われました。ウォーキングストロークもストロークが大きかったリブローブが歯面を滑ってしまって正しく測定ができていなかったり、と自分が今までどれだけ基礎を無視して悪いやり方でやってきたのか痛感しました。自己流の間違ったやり方をやめ、再度原点に戻り、間違いのない検査結果を出すという歯科衛生士の仕事として当たり前なことをきちんと行えるようになりたいと思います。

歯科衛生士としての基礎を、尊敬する先生方や歯科衛生士の方と一緒に学ばせていただける貴重な時間と経験を絶対に無駄にしないよう大切に、知識・技術を貪欲に得たいと思います。認定歯科衛生士になったらどうなりたいかをイメージし、そのイメージした目標に向かって頑張りたいです。そして、今より一回り

も二回りも大きく成長しプロの歯科衛生士として自信を持てるようになりたいと思います。(上中紗也香・もも歯科)

2013年9月15日(日)

10:00～18:00

- ・ヘルスケア歯科診療の概念とシステム構築
- ・コミュニケーションスキル

こんなプログラムを見て、講話だけの一日間、長い… 大変… そんな気持ちも混ざったスタートでした。

午前の部はヘルスケア診療の概念とシステム構築についての講話でした。従来の治療は痛くなってからの来院、痛いところだけの治療であったが今は変わってきたということはわかっていたのですが、ヘルスケア型歯科診療のシステムが『健康な歯列を守り育てる、生涯にわたっての人々の健康なパートナーになる』を、目標にしているということを知りました。

私は長い間、歯科衛生士として「何を

しないといけないのか？」と、自分に問い、歯科衛生士としての役割をしてきたのだろうか？ と、恥ずかしい思いがこみあげ、反省とスキルを上げなければと改めて感じました。

また、ヘルスケア構築の鍵は『優秀な歯科衛生士を育成すること』。そうなるには、知識・技術・コミュニケーションが大切だと話されました。

その一つであるコミュニケーションについての講話が午後からありました。

ただただ興味からの雑談をすることではなく、患者様の願望を聞き出し、その願望を満たすためには、どうしたらいいか？ を考えていただくことで、結果が得られる、ということをしっかり患者様に伝えることが大切だそうです。

そのことに気づくことで健康な口腔歯列を保存できるということでした。

私たち歯科衛生士にとって、知識や技術はもちろんですが、患者様との良好なコミュニケーションテクニックも重要だということ改めて認識しました。

一日を終え、最初の思いとは違い歯科衛生士ってすごい！ 今日聞いたことをすぐ実践しよう！ と、そんな気持ちになりました。ありがとうございました。

(井上広美・ふじい歯科)

プロフェッショナル リレー連載 2



第2回 鈴木康規(有限会社サンフォート)

みなさんお久しぶりです！ 口腔内写真のサンフォートの鈴木康規です。わたくしごとですが、4月に第二子が生まれ慌ただしい日々を送っております。子どもが一人のときに比べ大変さは増えましたが、将来の楽しみも増えました。

さて、今回は口腔内写真においても重要なカメラについてお話しします。弊社のカメラをすでに使っている人もいるかもしれませんが、改めて特長を知ったうえで撮影するのもいいかもしれません。

突然ですが、口腔内写真は好きですか？

うまく撮れる人は好きかもしれません。逆にうまく撮れなく苦手意識のある人は嫌いかもしれません。ただ、うまく撮れないのは本当に撮影者のせいなのでしょうか！？

『弘法筆を選ばず』ということわざがありますが、口腔内写真に関しては筆を選んでください。いや、カメラを選んでください。たとえ撮影技術があっても、カメラが悪くては質の良い写真は撮れません。

弊社のカメラは、誰でも簡単に使えるよう作られています。撮影倍率を決め、ピントを合わせるだけです。難しい操作はありません。しかも、ピントの合う範囲がとても大きく、ピンボケしづらいので、ピント合わせをガチガチにしないでOKです。これは質の良い口腔内写真を素早く的確に撮る際にとっても有効です。

口腔内写真は『環境づくり』が大事です。環境づくりのなかにはもちろんカメラなどの機材も含まれます。カメラの性能で写真の質も大きく変わります！！



ハイジ★たまご

太陽歯科衛生士専門学校の学生さんが、あずま幼稚園口腔内写真撮影に参加しました。

参加のきっかけは、衛生士学校の先生からの誘いでした。園児（低年齢児）の口腔内撮影がどのようなものかという興味と今後、歯科衛生士になったときに役立つ経験になると思い、参加させていただきました。

実際学びの多い体験となりました。その中でも印象深い3つを挙げます。

まず、当たり前のことですが、頬粘膜の柔らかさや口の大きさは千差万別だということを改めて認識しました。集団撮影のため個々の特徴を瞬時に判断し撮影することの重要性を感じました。

次に園児たちのう蝕罹患率が低いことです。目に見えて大きなう蝕が少ないように思います。口腔内写真という形で経時的に記録することの意義を感じさせられました。

最後に撮影経験者の年長園児になるに順い、自ら積極的に撮影に臨んでいたことです。それにより口角鉤挿入がスムーズにできました。

埼玉県岩槻市にて、大阪でご活躍中の諸井先生のセミナーが開催されました。諸井先生のクリニックでの真髄は、とことん、相手のニーズや想いに向き合うこと。自分たちがこうしたい！よりも、目の前の方のこうなりたい！に自分たちの知識や技術を活かしていく。つい、プラコンが悪ければ、つい、甘いものが多ければ、歯磨きをさせなくなる、甘いものをやめさせなくなるのが、私たちです。口腔内写真を撮って、PCRを記録して、見せて、患者様はこう思うに違いないのです。“磨けて

参加を通して園児が自分自身の口腔内を把握することは、本人のみならず保護者にとっても、健康観を高め歯科受診のいいきっかけになると感じました。

あつという間でしたが、楽しさと疲労感と充実した時間を過ごせたと思います。

森谷先生始めチームのみなさま、ありがとうございました。

(若林優美子・夜間部2年)



幼稚園の口腔内写真撮影に行く1週間前、私は人生で初めて口腔内写真を

撮りました。自分の口腔内は鏡などでたまに見てはいたけれど、しっかりと見えず、自分の口腔内写真を初めて見たときは、ちょっと感動しました。自分の口腔内に今まで気づかなかった新たな発見と驚きがたくさんありました。プリントアウトしたものをいただいたので、家に帰ってから何度も見てしまいました。

口腔内写真は、患者さんに口腔内に関心を持って貰うために、とてもいいツールだなと身を持って実感しました。

幼稚園のときから口腔内写真を撮影して、口腔内に興味を持てる環境があるのは、とても素晴らしいことだなと思いました。

私が子どものときにも、このような機会があればよかったのに！！

またぜひ参加したいです。ありがとうございました！

(山田由佳・夜間部2年)

セミナー★まにあ



諸井英徳先生セミナーに参加して

(長山和枝・わたなべ歯科)

ことでしょ！ 甘いものはむし歯になるってことでしょ！”と、でも、そんなことハッキリ言えないですよ。ここそこ磨き残しがあるのでこうやって歯ブラシ当ててください。お菓子やジュースはむし歯になるからやめましょう。そう言われたら、はい、と従うしかない。だけど実際には心の中でたくさんのいいわけをしている。忙しいから、難しいから、痛いから、そのいいわけを聞けてこそ、その方にあつたご提案ができるんです。じゃあ、いつならできそうか、何ならできそうか、

どうやったらできそうか。いつ、何回、何分、どんな歯ブラシで磨いているかも大事ですが、なんのために、どんな価値を感じて磨いているのかまで聴くことができれば、その方ならではの予防プランをご提案でき、信頼していただけるなと感じました。

また聴かせていただいた結果、患者様の想いに応えられる技術を身につけ、きちんと治療に導き、患者様に“自己重要感”を感じていただくことが、長いメンテナンスにつながるのだと学びました。

デンタルオフィス 白書

田村 恵

東京都小平市 河野歯科医院
メーカー：ナガイ 上 7,144 円（半袖を特注で長袖にしてもらっている）
下 3,308 円 合計 10,452 円

気に入っているところ：ハイネック、長袖で感染予防。
何が飛んできて怖い！ もう半袖には戻れない！

半袖の白衣が多いなか、長袖の白衣はすごく珍しいですね。
感染対策も、ポーズもバッチリです♪

夏場の暑さ対策：白衣の下にキャミソール、タンクトップ、吸湿速乾下着などで調節

冬場の寒さ対策：白衣の下にヒートテック、スパッツ、ハイソックスなどで調節

洗い方：医院の洗濯機
何枚持ってる？：上下2枚ずつ。
何日着るか：もちろん1日

シューズ：何が落ちてきてもいいように足が覆われている。
スニーカー等、各自自由。白ナースシューズ

洗濯は大変ですが、毎日清潔な白衣で気持ちがいいですね！ 見習わないといけません。



デキる衛生士の七つ道具

杉山歯科医院 小川満優子

- 一、手用スクレーラーのメーカーと種類
ヒューフレディ グレーシーキュレット
オリジナル ミニファイブ 各 5/6、11/12、13/14
フィット11/12、13/14 ミニファイブフィット11/12
アメリカンイーグル グレーシーアクセス5/6、11/12、13/14
サンデンタル SD シックルスクレーラー PRO 18 DHI
PRO No.1
- 一、超音波スクレーラーのメーカーとチップの種類
スブラソン P-IMAX チップ BDR (TK1-1 (S・L)、TK2-1 (R・L)、4 (R・L)、HY1、H3、A4
- 一、患者販売用歯ブラシ
サンスター バトラー #025 (S・M)、#88、#90、
#100、#111 ライオン システム44M
- 一、患者販売用フロス
ライオン DENT eiffioss (MINT WAXED)、
ウルトラフロス
- 一、患者販売用歯間ブラシ
ヘレウス ルミデント (US・L)
- 一、PMTc用ペーストとチップの種類
プロファイバーペースト (RDA250、170、120、40)、
ウエルテック コンクールクリーニングジェル
チップ GC PTC カップ、LK ポリッシングブラシ
- 一、上記6つの中で最もお気に入りの器材とその理由
P-IMAX H4 (R/L)
私のお気に入りの道具はこのチップです。初めのうち縁下歯石は主に手用スクレーラーを使っていたのですが、硬い歯石は時間がかかるし手への負担も大きく、いつか手を傷めるのではないかと不安もありました。しかしこのチップには刃がついており、強固な縁下歯石も楽々除去できるので、今では欠かせない器材の一つです。

編集後記

【The HyG Times】第25号です。今年最後のハイジータイムズとなりました。1年の速さに歳を感じながら来年をイメージする私ですが、みなさんはいかがでしょう？ 今年もヘルスケアミーティングは盛り上がりましたね！ 私は2日間B会場担当でしたが、衛生士発信の有意義な内容だったと思いました。できればA会場とは別の時間にしたいくらい…(笑) というわけで、年明け第一弾は2013年ヘルスケアミーティングを振り返ってみたいと思います！ では皆様、良いお年を！ そして来年もどうぞよろしくお願致します！！(「ハイジなわた歯」隊長；山田美穂)
情報提供・質問・問い合わせ「The HyG Times 編集部」：hygimes@gmail.com